

せい ろう まち
聖籠町
議会だより

VOL.
93
平成23年1月7日発行

～ まちの宝シリーズ～

給食でニッコリ!



12月議会主な質疑

3～6ページ

7人が一般質問

10～17ページ

委員会報告

18・19ページ

平成23年度 「東港振興室」を設置



期待ふくらむ新潟東港

新潟東港区の振興をはかるため、平成23年度に港湾関連事務や企業誘致等を担当する室を新たに設けることから、課制条例の一部を改正しました。

主な質疑
今なぜ設置するのか
新しい課
小川益一郎議員 「東港振興室」の人員体制は、

室長を国土交通省から招へいし、職員は3人から4人だというのが、本来、もっと早くにこのような課を設置すべきであった。運きに失したという感があるが、今なぜ設置するのか。
東港には100社超の企業がある。昼間の人口はおよそ1万人。
今後さらに、町としては、東港企業との意見交換、企業振興策が必要と考える。

潟市とともに表裏一体となって施策を行ってきた。しかし、国の予算づけがきびしくなってきた。今、聖籠町としてはさらに踏み込んだ政策誘導をしたい。国と情報共有を積極的にするために設置した。
LNGの冷熱利用策は
手島八郎議員 東港への企業誘致に期待するが、以前に、LNGの冷熱利用策を町として調査するため、多額な予算を投入した。

町長 LNGの冷熱利用については、食品関係の企業利用や新潟市内にあったスケートリンク施設を近隣に移転などの話はあった。
しかし、冷熱の一定した供給が出来にくいというところもあり、調査・研究した経緯はあったが、今後も新たな可能性を模索している。

12月定例会

平成22年第4回定例会は、12月5日から10日までの6日間で開かれました。
町長から行政報告があり、公益的法人等への聖籠町職員の派遣に関する条例の制定、課制条例の一部改正、職員の旅費に関する条例の一部改正など11議案を審議し、原案どおり可決しました。
教育委員会委員の同意、固定資産評価審査委員会委員の選任同意も原案どおり2件同意しました。
また、米価の大暴落に歯止めをかけるための意見書、TPPの参加に反対する意見書2件を可決しました。

一般質問では、7人の議員が、町長選挙、農業、スポーツ振興などについて、町政を質しました。

新春を迎えて



議会議長
須貝 龍夫

町民の皆様、明けましておめでとございます。
ご家族おそろいで健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

国内においては、昨年鳩山内閣から菅内閣に引き継ぎ、国民に約束をした事業の実現のために、23年度予算編成に頑張っています。今後、経済不況の時代をどう乗り切るかが最大の課題であろうかと思えます。

本町では、23年3月議会定例会にまちづくりの指針である第4次総合計画が提案されることから、第4次総合計画調査特別委員会を設置し調査することにしました。

私共、議会におきましても住民の声の代弁者として、皆様の切実な要望を町の施策に反映させなければなりません。産業基盤・生活環境の整備、教育・文化の振興、福祉の増進など適正な把握と対処を行い、聖籠町に住んで良かったと喜んでいただける、まちづくりに努めたいと思っております。

活力ある議会活動を目指し、均衡のとれた議会運営を行い、慎重かつ英断をもって対応すべく決意を致しております。
今年も皆様のご健康とご多幸をお祈り致すと共に、議会に layersのご指導とご協力を賜りますようお願い致します。



議員名簿

- 議会議長 須貝 龍夫
- 議会副議長 堀 常正
- 議会議員 高松 守雄
- 同 小林 政榮
- 同 田村 富美男
- 同 宮沢 光子
- 同 桜井 怜
- 同 五十嵐 利栄
- 同 加藤 正之
- 同 中村 恵美子
- 同 小川 益一郎
- 同 田宮 実
- 同 手島 八郎
- 同 高松 春雄

地方公共団体金融機構へ 町職員を派遣

平成23年度に、地方債の貸し付けや資金調達等の業務を行う公益法人である、地方公共団体金融機構へ職員を派遣します。公益的法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律に基づき、派遣職員の身分の取り扱いの条例を定めました。

主な質疑

復帰後すぐ昇給するシステムは疑問

五十嵐利栄議員 職員を国等へ派遣・他の自治体との交流人事については職員への資質向上の成果が期待されるので、基本的には賛同する。しかし、復帰後すぐ昇



職員の資質向上にむけて

給するシステムについては、疑問が生じる。派遣された成果には個人差があり、成果が望めない場合もある。復帰後、ある一定期間をおいて、成果を見極め、昇給させるのが筋ではないか。職員間で不公平感が生じないか懸念する。

取扱いは特別昇給制度

町長 これまで、国・県・新潟市などに派遣・人事交流してきた。町として、目的に沿った形で派遣したが、職員達は期待に添えてくれたと思っている。特別昇給制度にのっとり、復帰後、15%の範囲内で昇給させている。派遣先での勤務状況や評価なども成果として見るが、派遣された職員の肉体的・精神的な面での苦勞も加味しなければならぬ。職員の派遣研修のあり方は、今後とも議論しなければならぬ。

行政報告



渡邊町長

聖籠町防災訓練

農家の経営維持助成

県事業「学力向上ウェブシステム」

政府が検討を進めている、地域主権改革の柱の一つである一括交付金制度、子ども手当の地方負担など、地方の行政運営を大きく左右する国策の動向が注視されます。このような情勢下において、平成22年度施政方針と当初予算、補正予算により、施策の計画的な推進と適正かつ予算執行に取り組んでいます。第4次総合計画の最終

答申は12月中旬。その後、職員による策定委員会を設立し、3月議会へ提案したいと考えています。10月3日、聖籠町防災訓練が行われました。今回の訓練は、第1部「まちなか防災訓練」、続いて第2部として、3年ぶりに、防災関係機関の連携による「総合防災訓練」を行いました。今回は初めて、陸上自衛隊と

派遣チームが加わり、機関の参加でした。17

水稲の一等米比率が今夏は猛暑により最悪の結果になりました。品質低下による農家の減収を補うため、経営維持助成として、「うるち、もち」の出荷数量に応じての助成。聖籠町猛暑等被害対策資金に対する利子補給制度を制定し、農家経営の支援策を講じました。中学生の通学バスについては、約180人の申込があり、12月1日から運行を開始しました。入札の結果、運行業者は、新潟交通観光バス㈱です。今年度は、試行の年度であるため追加で2次申込を受け付けます。小・中学校では、県内ほとんどの学校が参加する県の「学力向上ウェブシステム」事業を活用し、小学校では「国・算」、中学校では「国・数・英」の学力定着、向上に努めています。

観音の湯ざぶ〜ん館指定管理者

(株) 聖籠の杜

指定期間 平成23年4月1日から
平成28年3月31日(5カ年)

主な質疑

事業計画の中で来館者の見込み数は

加藤正之議員 指定管理者に応募したのは一者だけか。応募するためには、事業計画書を提出しなければならぬ。ざぶ〜ん館の来館者は、5年前から比較すると2万人は減少している。「(株)聖籠の杜」の事業計画の中に、今後、5年間に於ける来館者数の見込みはどのくらいになっているか。

具体的な数字はない

保健福祉課長 応募してきたのは、「(株)聖籠の杜」一者のみであった。計画書の審査は、庁内における審査委員会で行った。計画書の中では、来館者数の見込み数の具体的な数字は明記されていないが、営業努力で悪くとも現状維持を見込んでい



営業努力で来館者アップ

町民会館トレーニングルーム指定管理者

(NPO法人) スポネットせいろう

指定期間 平成23年4月1日から
平成28年3月31日(5カ年)

主な質疑

応募は複数あったのか

五十嵐利栄議員 トレーニングルームは、今まで、「(株)聖籠の杜」が管理者であった。

今回の応募には複数の応募があったのか。委託料はどのくらいか。現在のスタッフは、(株)聖籠の杜に所属しているが、スポネットせいろうに変わることでどうなるのか。

一者のみである

社会教育課長 指定管理者への応募は一者である。委託料は、ほぼ従来どおり。今後、スタッフの要望を聞き、スポネットせいろうが審査、対応することになる。



トレーニングルームで健康維持

一般会計補正予算

公会堂改修等工事費補助金	780万円
介護保険特別会計介護給付費繰出金	1090万円
山大夫地区基盤整備促進事業負担金	5172万円
聖籠海洋レクリエーション交流拠点施設整備工事	1億4700万円

平成22年度の既定予算に、2億3240万円を追加し、総額74億3814万円とするものです。
 主なものに公会堂改修等工事費補助金780万円、介護保険特別会計介護給付費繰出金1090万円、山大夫地区基盤整備促進事業負担金5172万円、聖籠海洋レクリエーション交流拠点施設整備工事1億4700万円などです。

をはかる。

効果については、NPO法人による指定管理者制度を想定している。ラ

ンニングコストは年間400万円である。

対象は 介護認定者が

宮沢光子議員 生活支援ホームヘルパー事業の対象者と支援する具体的な内容は何か。

対象は 一人暮らし世帯

保健福祉課長 介護認定を受けていない一人暮らし世帯を対象とした事業である。

支援する内容は、日常生活での家の掃除、買い

物などの家事介助である。

建物修理費 全額町負担か

宮沢光子議員 東山団地の修繕費として50万円計上されているが、建物の修理費は全額町で負担するのか。

一部は借主負担

ふるさと整備課長 簡単なクリーニングは、借主が負担する。

審議会答申いつか

五十嵐利栄議員 生涯学習推進審議会委員報酬78万2000円が補正予算に出てくるのはおかしい。この審議会の答申はいつ



にぎわいが期待される海洋交流施設整備

になるのか。

24年2月に予定

社会教育課長 審議回数は当初5回を予定したが、グループワークにより審議回数が9回と、4回増加したことによる。答申は平成24年の2月に予定している。

研修先選定の 考え方は

小川益一郎議員 中学生の海外研修補助金が減額されたが、その理由と研修参加費の負担の捉え方について、研修先の選定についての考え方は

安全性の 観点から選定

町長 最近では低迷している。参加者の研修参加意欲や経済環境について検証し、教育委員会との整合をはかり、事業を推進する。

教育長 本年は、研修参加者10人を計画したが、2人の参加にとどまった。研修は、要領により現在は6割を補助している。

研修先については、語学研修ということから、中学校で英語を学んでいることから英語圏ということ、中学校より要望もあり、安全性の観点から選定した。

みなさんの 請願・陳情

第4回定例会では、地域住民より直接の声となります。請願3件が審査され、すべて採択されました。

採択した請願

米価の大暴落に歯止めをかけるための請願〔提出者 農民運動新潟県連合会 今井 健〕

TPPの参加に反対する請願〔提出者 農民運動新潟県連合会 今井 健〕

TPP交渉参加反対に関する請願書〔提出者 北越後農業協同組合 代表理事組合長 宮島 允〕

意見書を 国に提出

第4回定例会で2件の意見書が提出され、全会一致で可決されました。可決された意見書は、国の関係機関に提出し実現するよう要請します。

米価の大暴落に歯止めをかけるための意見書
TPPの参加に反対する意見書

教育委員会委員に

根津慶幸さん



根津慶幸さん (次第浜)

10月1日から欠員となっていた教育委員会委員に、次第浜の根津慶幸さんが任命され全会一致で同意しました。根津さんは昭和46年に新潟県立津南高校に勤められて、以来両津高校はじめ十日町高校

や村上高校等教諭として勤務されました。現在は新潟市立万代高校で常勤講師を勤めています。教育委員の任期は平成23年4月1日からです。教育委員としての活動に手腕を期待します。

固定資産評価審査委員に

佐藤栄蔵さん



佐藤栄蔵さん (真野)

固定資産評価審査委員である真野の佐藤栄蔵さんは、平成22年12月31日をもって任期満了となることから、再度選任され、全会一致で同意しました。佐藤

さんは人格、識見と優れた方であり、引き続き手腕を期待します。

第1回臨時議会

猛暑等被害における補正予算 1393万円

どうか。

7530万円
ほどである

平成22年第1回臨時議会が11月5日、1日間の日程で開催されました。平成22年度一般会計の既定予算に1393万円を追加し、総額72億1866万円とするものです。猛暑等被害対策資金利子補給金13万円、水田農業確立対策補助金1380万円です。

主な質疑

稲作でどのくらい減収か

加藤正之議員 猛暑被害で町の1等米比率はどのくらいか。
稲作で減収はどのくらいか。
利子補給補助金4万4000円の内訳、根拠は

4年目以降は町が0.6%、農家0.85%の負担となる。

不作の原因は何か

町長 聖籠管内の1等米比率は17.5%である。JA管内では20.4%である。稲作の減収は10ヶ当たり1万2000円ほどで、4600万円の減収となる。最終的には7530万円ほどになる。

県やJAで検証・精査

町長 猛暑による不作の原因は特定できない。原因については、県の立場で検証しているし、JA等でも精査していると思う。

水田以外での助成は

中村恵美子議員 共産党

が5項目について県と交渉を行った。
夏の猛暑による被害を受けた農作物について検討したいということであり、町では水田以外で助成は考えているか。

考えていない

町長 基本的には猛暑による稲作を中心に検討してきた。
町には果樹、野菜、施設園芸等もあるが、収量の低下等の実態報告がない。現状では考えていない。

戸別所得補償でどのくらい入るのか

五十嵐利栄議員 所得補償に加盟している面積はどの程度なのか。
戸別所得補償方式に入した農家は全体の何%か。計画と実面積はどうか。
戸別所得方式はまだ決定されていないが、補助を決めた時点での全体で見るとはどうか。

だいたい9380万円程

産業観光課長 面積については、625鈔ということである。

戸別所得補償の参加農家は、394農家である。本年度は411人が、対象ということで7割から8割くらいが加入している。

戸別所得補償については、625鈔の面積に反当たり1万5000円掛けが入るので、だいたい9380万円ほどと考えている。



猛暑で酷しかった水稲経営

読者の声



加藤 朋子さん (ひばりが丘)

「議会だよりで町の情報を得ています」

私は、今の生活の中で特に不便さを感じることもなく、住んでいる地域は住みやすいところだと思っています。

議会だよりはほとんど目を通していませんが、町に対して特に不満のない私は、記事を見ながら「そつだったのか。」「なるほど。」「と思いがら町の情報を得ています。先日、聖中の近くでバスを見かけました。8台くらいだったと思います。

私の子どもは小学生なのですが、近頃は日が短くなり暗くなるのが早いので、帰りが遅いと少し心配です。子どもも薄暗

ちょっとビックリしました。これが議会だよりに出ている通学バスなんだ、と思いがら通り過ぎました。私は、中学生の子どもを持つていないので、実際のところは良くわかりませんが、親の送り迎えの負担が減り助かっているのですね。

私の子どもは小学生なのですが、近頃は日が短くなり暗くなるのが早いので、帰りが遅いと少し心配です。子どもも薄暗

くなってきたら、さっさと歩いて帰ってくればいいのに、友達と楽しい時間を過ごしているのですね。うか、私にしかられてしまつこともありません。通学路は、田んぼの真ん中で、今の時期は特に人があまりなく街灯もない状況です。通りの多い県道の歩道は、幅が狭く凸凹があり歩き辛く危険だということ、通学路になつていないようです。

子ども達の安全の確保を考えると、道草もある程度は大切だと思つている気持ちと矛盾が生じて来ます。考えると難しいので、とりあえずは薄暗くなつてきたら急いで子どもが帰つて来てくれることを祈り、帰りを待つています。

第2回臨時議会

人事院勧告による賞与等の減額 1290万円

平成22年第2回臨時議会が11月29日、1日間の日程で開催されました。人事院勧告に伴い、聖籠町職員の給与に関する条例等の一部改正する条例について審議され可決しました。

主な質疑

期末、勤勉手当
いくらの減額か

五十嵐利栄議員 職員給与の減額の額が、0円から500円ということだが、トータル的には0.1%の減額という説明である。
金額的にはいくらの減額になるか。

一人あたり平均7万5969円の減額の減額

総務課長 単純平均で町全体で一人当たりの平均

で、7万5969円の減額となる。

月例給は
どうなってるか

五十嵐利栄議員 月例給与と期末、勤勉手当で7万5969円になったというが、そのうち月例給の

影響額は

7407円

総務課長 7万5969円を除いた月例給が、影響額として7407円となる。



住民生活を支える町役場職員



一般質問

町政を問う

次回の定例会は、
3月上旬 開催予定です

7議員が質問

— 宮沢光子 議員 (11ページ) —

1. 増加しているか健康維持のスポーツ人口
2. どう考える生涯学習
3. 男女共同参画の浸透度は

— 小川益一郎 議員 (12ページ) —

1. 選管は法の遵守を
2. 高齢者の交通指導きめ細かく

— 五十嵐利栄 議員 (13ページ) —

1. 投票時間は今後も短縮か
2. 応援手当アップは
3. 品質向上対策は

— 中村恵美子 議員 (14ページ) —

1. TPP廃止国に求めよ
2. 町は引き続き14回の妊婦健診を
3. 住宅リフォームの助成を

— 堀常正 議員 (15ページ) —

1. 作業免許習得支援を
2. 今後の道路整備計画は
3. スポーツ立国 町の対策は

— 小林政榮 議員 (16ページ) —

1. 加工所どうする
2. TPP問題どう思うか
3. 農業基本条例どうする
4. 米粉パンの給食どうする
5. 消防組織の再編整備を

— 加藤正之 議員 (17ページ) —

1. 囲碁サミット参加は
2. 選挙開票事務の改革を

増加しているか 健康維持のスポーツ人口

町長 計画に基づき事業展開

問 町の「生涯スポーツ振興計画」が策定されて5年過ぎた。計画では高齢者スポーツの基本目標は、健康維持のためスポーツ人口を増やすとある。昨今、生活習慣病からの医療費の増加を抑えるため「メタボ対策」が唱えられている。このメタボに続いて、放っておくと要介護のリスクが高まるロコモティブシンドローム

一コマメモ
ロコモティブシンドロームとは？
骨や関節・筋肉などの運動器が衰え、要介護や寝たきりになるリスクの高い状態をいう。

問 町（通称ロコモ）が問題提起された。ロコモ対策の一つに筋肉トレーニングがある。中高年者のために町のトレーニングルームの有効活用をどう考えているか

町長 振興計画に基づき各課連携して事業展開している。

「スポネットせいろう」のニーズスポーツ体験など、ようやく町民に浸透し始めたと思う。今回、トレーニングルームの指定管理者に「スポネットせいろう」が応募した。トレーニングルームを活用した体験型教室などの展開に期待する。事業展開に必要な予算要求には応えていきたい。



宮沢 光子議員



マシンを使って筋力アップ

どう考える生涯学習

教育長 ニーズ調査など検討する

問 高齢者の生きがい対策とした生涯学習の場をどう考えているか。例として、聖山大学のカリキ

コラムの形骸化が挙げられる。時代に沿った自己啓発につながる教室・講座が必要である。子どもは町の宝というが、何かに取り組む大人の姿も町の宝である。**教育長** 聖山大学のみならず、高齢者が生き生きと学ぶ姿を子ども達に見てもらうことは重要である。生きがいを持てる生涯学習について、ニーズ調査など検討したい。

男女共同参画の浸透度

町長 意識改革も含め庁内研修をする

問 先頃、新潟県女性財団のセミナーに参加したが、セミナーには、県内各自治体の職員が研修の一環として参加していた。男女共同参画という視点から職員研修をどう考えているか。今後、課長職に女性を登用すること

も期待するが、男女職員とも庁外・庁内研修は重要である。**町長** 夏の選挙で職員の意識改革を問われた。今後、男女共同参画の視点や職員の意識改革からも、庁内研修を行う。



小川 益一郎議員

選管は法の遵守を

選挙管理委員長 法文解釈断定できない

問 選挙管理委員会は8月の町長選挙から突然投票時間の短縮を決定した。午前7時から午後8時までの投票時間を2時間繰り上げ午後6時までとした。

公職選挙法第40条ただし書きによる特別の事情がある場合短縮ができる」と釈明している。

選挙公報では、特別事情とは、町民から意見を聞いた。経費の削減になる。期日前投票が定着した。町民に早く結果を知らせたい。といった。以上のこと公職選挙法ただし書きの規定には該当しない。

特別の事情とは自然的条件(災害や大雪、台風、大雨等)、物理的条件(日

没、遠隔地、離島等)により投票が困難な場合、特別に2時間短縮を可能とすることができると規定されている。

聖籠町の8月は日も長く、農繁期でもなく、2時間短縮する理由はない。法の精神を正しく解釈し適用してもらいたい。選挙は民主主義の原点である。

投票所開閉時間の変更には客観的・合理的な理由が必要と考えるが、短縮理由は、選挙公報どうりか。短縮した法的根拠や憲法との関係をどう考えるか。

公選法第40条ただし書きの特別の事情は選挙公報の特別の事情に該当するののか。

法文解釈の誤った適用により2時間短縮した結果投票率7・19ポイント低下した。今後投票率向上するにはどうすべきか。

選挙管理委員長 選挙管理委員会は司法機関ではないため法文の解釈において断定して答えることが

できない。

2時間の短縮した理由は選挙公報のとおりである。総合的判断により該当する。

今後も地道に啓発や啓もうに取り組んでいきたい。投票率低下は誠に残念であるが低下の原因は特定することは難しい。

高齢者の交通指導 きめ細かく

町長 検討したい

問 道路交通法の改正により70歳以上の人が免許更新する3カ月前になると、公安委員会の通知により、高齢者講習修了証明書がないと免許更新ができなくなる。75歳以上の人は予備講習が必要となる。高齢・加齢による認知・能力的減退によるものが多い。

町は高齢者の交通指導にきめ細かくできないか。

町長 関係者と協議し検討したい。



認知判断行動測定 (シルバードライビングスクール)

投票時間は今後も短縮か

選挙管理委員長 短縮を継続する

問 8月の町長選挙で唐突に投票時間を2時間短縮した。結果として投票率は7・19ポイント低下した。

県の関係者に確認したら、聖籠町が2時間短縮したこと首をかしげていた。委員長は9月議会ですべて2時間短縮した投票時間で実施すると述べているが、現在もこの考えに変わりはないか。

県関係者に確認したら、聖籠町が2時間短縮したこと首をかしげていた。委員長は9月議会ですべて2時間短縮した投票時間で実施すると述べているが、現在もこの考えに変わりはないか。

問 介護保険制度がスタートから11年経過し4期目半ばとなった。保険料も上昇の一途をたどり、厚労省が発表した5期目の保険料試算の全国平均値は現行4160円から25%アップする5200円である。

医療給付費と介護給付費の関係が微妙に相関している感じを持っている。健康な高齢者を増やしていくこと、予防施策を展開していく。

町として、保険料が増えた場合は応援手当をアップする。

町として、保険料が増えた場合は応援手当をアップする。

品質向上対策は

町長 県の指導を踏まえて

問 米の生産調整未達成の主な原因は何か。また記録的な一等米比率が低下した主たる要因と次年度対策をどう考えているか。

町長 未達成の一つは、従来の未達成農家の大半が今年も未達成だったこと、独自販売を選んだ農家があったこと。品質低下の原因は県の専門家などの調査を踏まえて、次年度への応援を行う。



五十嵐 利栄議員

応援手当アップは

町長 アップを考えている

町長 聖籠町の5期目の保険料も5000円台の前半で推移すると考えている。聖籠町の保険料が高い原因の一つとして、

聖籠町の現行保険料は全国平均より高い4820円であるが、5期目の保険料の見込はどの程度とみているか。保険料を下げる方策を具体的にどのように考えているか。また、現在助成している応援料3000円は、今後保険料がアップすることを考えているか。



介護施設へ中学生のボランティア訪問



堀 常正議員

問 町内中小企業は長びく景気低迷で苦しんでいる。システム高度化に伴う作業資格免許取得、教育訓練が義務化されつつある。

この経費負担が会社の経営に重くのしかかっている。商工業者支援対策として、各種作業免許取得費用の半額助成がでないか。

町長 聖籠町中小企業人材育成事業補助金交付要綱を制定し、中小企業の経営支援や産業振興に努めているが、企業にどのような分野を望むのかを精査し、支援の内容を掘り下げ、要領の改正を再度検討してみたい。

作業免許 習得支援を 町長 支援の要領を再度検討

今後の道路 整備計画は

町長 現況幅員で舗装整備



新基準で見直す道路整備

問 これまでの幹線道路や地域区間連絡道路整備から、今後は遅れている生活道路の環境整備、未整備道路(幅員6メートル以下)の簡易舗装を促進するようであるが、どのように整備するのか。

町長 未整備道路や幅員6メートル未満の道路整備も利用実態から快適な生活空間

町長 国が補助金を打ち切っても町では継続したい。法定外繰り出しはしない。今までもおり行う。平成25年3月廃止となり、この12月で最終案がまとまる。町では、所得税非課税世帯は月額1万円、課税世帯は5千円を単独で支給。新年度より0歳から小学校6年生まで通院について、3回目以降無料にする。

町長 子どもたちはスポーツを楽しむ必要があり、スポーツ少年団やクラブなどがかかわりを深めていきたい。

町長 指導者の人材確保

問 文部科学省は、今年8月にスポーツ立国戦略を策定し、人格の形成、体力の向上、地域の活性化、活力に満ちた社会形成を目的とした、さまざまな形でスポーツに参画できる環境の実現に向け、基本的な考え方、政策を示した。

今後は「スポーツせいろ」や、競技団体と協議し、指導者の人材確保に努めたい。

スポーツ立国 町の対策は

間を確保する必要があると考える。

一定の条件を整えば、拡幅整備を今までの6メートル以上を基準とするものの、それ以下の幅員道路でも舗装整備を実施するための基準や条件を新年度予算編成までに行いたい。

TPP 廃止国に求めよ

町長 全国町村会でも反対



中村 恵美子議員

問 TPPは、日本農業と地球を壊滅させるので国に対し廃止を求めるべきである。米の価格補償制度を創設し、再生産のできるようにすべきである。農産物の価格保証は、野菜2品目以外にも拡大し、果樹にも価格保証すべきである。

町長 全国町村会でも町村にとって農林水産業は基幹産業であり、政府に対してTPP参加交渉の撤回を求めている。従来より町単独の助成金制度を創設し、農家の所得維持・向上に寄与している。2品目以外は、関係農業者から要請があれば、負担のあり方を含め協議に値する。果樹は拡大には無理がある。

町長 国が中止しても継続したい

問 妊婦健診14回の無料健診は、国は23年度までとあるが、町は引き続き行うべきである。国保会計への繰り出しを行い、加入者への負担を減らすべきである。国保税の未納を理由に資格証明書の発行は避けるべき

である。後期高齢者制度を早急に廃止するよう国に求めるべきである。在宅介護手当を月5万円の支給を行うべきである。子どもの医療費の一部負担金の減額や、中学校卒業までの医療費を拡大すべきである。

町は引き続き 14回の妊婦健診を



TPPで日本の農業は守れるか

町長 個人財産なので助成はしない。手続きは簡単と思っている。県も平成20年から耐震改修に助成している。必要性のある人からの要請は、23年度に向け前向きに検討。

一口メモ
法定外繰り出しとは？
法に基づかない繰り出しのこと。

住宅リフォーム の助成を

町長 助成はしない

問 住宅リフォームの助成をすべきである。小規模等契約者制度の持続性簡素化を。住宅の耐震化促進のため耐震補強工事の助成を。



加藤 正之議員

問 町長は5月29日・30日の日程で長野県黒部観光ホテルで開催された囲碁サミットに参加したが、参加した目的は何か。囲碁を今後の町づくりにもどのように生かしていく考えか。

町長 囲碁文化振興事業に取り込む全国の9自治体の首長が集い、交流を深め、囲碁を町づくりの一環の中でどう位置付けていくか意見交換した。子ども達に普及し、想像力と豊かな発想力の育成、心豊かな人間性の形成など、教育力の向上をはかりたい。そして地域・世代を超えた生涯学習の町づくりを推進したい。**教育長** サッカーでも囲碁で求められている集中



これで どうだ!

町長 生涯学習の町づくりを 囲碁サミット参加は

力、思考力、判断力などを高めることは可能と考える。

問 9月から選挙の関係でいろいろ議論してきたが、これを無駄にしないで次の改革につなげて欲しい。

選挙開票事務の改革を

町長 取り組んでいる

開票事務迅速化の取り組みは選挙管理事務にとどまらず、職員全体の意識改革につながると考える。町長もいるが町長はどう考えるか。

町長 職員の意識改革につながると言う考え方には同感である。

選挙管理委員長 正確性迅速性を目的に対策は取っているが、疑問票で時間がかかることもある。根本的には事務に対する資質の問題である。

9月から今まで多くの議員から議論をいただき、そのことに関しては陳謝したい。これからは適正な選挙を執行することを第一義的に考え、選挙管理委員会を運営していきたい。

加工所 どうする

町長 関係者と協議する



小林 政榮議員

問 本年新設され、農業振興に資する設備である農産物加工所の利用状況と今後の対応について、どのように考えているのか。

町長 指定管理者並びに施設利用者の意見を聞き利用者の声に応えていきたい。

商品開発については、民間事業者との連携も視野に入れ、取り組んでいきたい。



期待される米粉パン工房

TPP問題 どう思うか

町長 反対していく

問 国内農業に壊滅的な打撃を与えかねない重要な問題である。この問題についてどのように受け止め、対応しようとしているのか。

町長 すでに全国町村長大会で特別決議もしており、政府に対し撤回の申し入れも行っている。

農業基本条例 どうする

町長 条例検討委員会を設置

問 農業を取り巻く環境は、内外共に多くの問題があり、多事多難な状況下にある。

農業基本条例に取り組みようだが町長の意図するところは何か。

町長 農業基本条例として本町農業施策の基本方針並びに農業者の責務を定め、農業の振興をはかる。

の対応力など、未解決の問題があるが、どう思うか。

町長 パン工房は、施設としての趣旨を踏まえた上で、給食に出せるような体制になったら実施したい。

教育長 米粉パンの学校給食の供給には、解決すべき点がある。研究を重ねていく。

消防組織の再編整備を

町長 検討の必要を感じる

町長 問題点解決に向けて努力する

問 学校給食の利用は、パン製造設備の能力並びに人的な能力、給食センターの副食物の調理設備

問 広域消防体制の確立や、本町消防組織の機械化による機動力の向上がなされた。

他方では、時代の変化による恒常的な団員の成り手不足がある。時代にあつた組織の再編整備が必要ではないか。

町長 団員定数の見直しも含め、関係者と協議し取り組む。

閉会中の

委員会報告

通学バス・町循環バス 事業などを調査 総務文教

10月20日・21日、茨城県大洗町及び福島県三春町へ中学校における教科センター方式の視察調査を行った。

11月21日、通学バス・町循環バス事業について調査を行った。通学バス事業については、申込総人数184人。運行経路は4ルート。通学バスの乗降所は原則町循環バスの停留所。申込終了後、問い合わせが16件。今後、保護者の動向を精査して2次募集も考える。委託業者は、3者入札で新潟交

通観光バス(株)、契約金777万円。町循環バスについて、乗車人数の統計では、一般乗車の人数は増えていない。しかし、佐々木駅へ乗り継ぎ・料金免除の乗車人数は年々増加していて、交通弱者にとって確実に交通手段になっていると思われる。循環バスは、車体がエコ対応のもので故障も多く、老朽化も進んでいる。計画的な入れ替えを考えなければならぬ。担当課が通うバス事業であるが、今後とも強い連携が必要である。



未整備生活道路など調査

厚生産業

11月8日に、幅員6m以内の未整備生活道路の現地調査と農産物加工センターの稼働実績と今後の動向について調査を行った。

幅員6m以内の未整備生活道路の現地調査については、9月議会で執行部から提起されたことを踏まえて、まず実態調査の必要があると判断し、法定外公共物(いわゆる赤道)30カ所と町道18カ所中40カ所の調査を行い、残り8カ所の調査は12月8日に実施した。11月29日に、執行部から本件についての町の取扱い基準が提示された。町の基準についても今後委員会で検討していくことを決定した。

農産物加工センターの稼働実績調査については、4月～11月5日までの稼働実績は合計115回であった。この実績は当初計画1120回に対して9%であった。



議会活性化に向けた調査

議会運営

10月8日、北海道釧路町の議会活性化の取り組みについて視察した。

釧路町は釧路市の東に隣接した面積254・12平方キロ、人口2万人規模の漁業と農業を主とする工業の町である。

大正9年釧路市から年賦助成金11万を受けて分村独立した。平成の合併促進で釧路地域6市町村合併協議会が設置されたが釧路町だけ離脱し自立の町づくりを進めている。

釧路議会は議会活性化に向けた取り組みを平成20年2月から22年7月まで19回にわたり調査し政務調査費の見直しや議員報酬、議員定数の検討を行っている。

議会自らが地方議会の在るべき姿の究明と政策形成や行政チェックの努力を学ぶことができ大きな示唆をいただいた。膨大な釧路湿原の真中に一直

線の広域道路が走る自然あふれる景観はすばらしい「日本の宝」と感じた。釧路湿原は昭和55年ラムサール条約登録湿地に指定され昭和62年国立公園に指定されている。



お知らせ

議会を傍聴してみませんか
次回の定例会は、
3月上旬開催の予定です。

今、町ではどんなことが論議されているのだろうか。どんな計画があってどう進んでいるのだろうか。あなたに身近なことも知れません。お気軽に傍聴においでください。

会議録は、町の図書館と保健福祉センターに置いてありますので、どうぞご覧ください。

なお、一般質問の通告一覧は、定例会開催前に、役場1階窓口、町民会館、図書館、保健福祉センターに設置しますので、ご覧ください。



募集しています

あなたもみんなのページ
聖籠町に嫁いで来た
お嫁さんに出てみませんか！

もし、私もと思っている方は、お気軽にご連絡ください。
対象者は町外から嫁いで来たお嫁さんです。

(連絡先)
聖籠町役場議会事務局
☎0254-27-1967 (直通)

議会広報対策 特別委員会

議長 須貝 龍夫
委員長 中村恵美子
副委員長 高松 守雄
委員 小川益一郎
宮沢 光子
田村富美男
小林 政榮

みんな

の

ページ

聖籠町に嫁いで来た お嫁さん

安心して子育てできる 環境に感激！



小林 蘭 さん
(網代浜)

Q どんなきっかけで彼と知り合いましたか？
紹介です。

Q 聖籠町に嫁いで来てどんなイメージを持ちましたか？
自然がたくさんあって、町も豊かですごくいい環境だと思います。これから子育てしていくのにも、安心できる環境に感激しました。主人のように、のびのびと元気に育てていけたらいいと思います。

Q 町での生活はどうか？(楽しい新婚生活のエピソードもあったらお聞かせ下さい)
家族や親せきの人たちに支えてもらいながら、毎日楽しく過ごしています。聖籠町は、いい所だよ。住みやすいよ。と聞いていましたが、生活してみるとさまざまな制度も充実していて本当に住みやすいです。

天気の良い日などは、お弁当を持って海に行ったり釣りをしたり、主人と出かけるのが楽しみです。

Q 町に望むことはありますか？
これからも、人に優しい町であって欲しいと思います。
お料理教室やお菓子作りなどのイベントを通して、いろいろな人たちと触れ合える機会があればうれしいです。

聖籠町に嫁いで来たお嫁さん、今回は村上市出身で、平成21年10月に網代浜に嫁いで来た小林 蘭(旧姓 遠山)さんです。
皆さんよろしく申し上げます。

政府は11月の月例経済報告で「景気は、このところ足踏み状態となっている。また、失業率が高水準にあるなど厳しい状況にある」と発表。昨年以上に多くの国民が不安を抱えたまま厳しい年越しを迎えようとしている状況を踏まえ、臨時国会でこの雇用情勢の建て直しと景気回復をはかることを大きな柱とした補正予算を成立させたところである。とりわけ疲弊した地方の経済情勢が一刻も早く回復することを願っている。

また、昨年は猛暑の中で町長選挙が、行われ渡邊町長が当選し、9月から5期目を迎え、町民に約束した6項目の基本公約を遵守し、基本政策の第4次総合計画を策定し、23年度から前期5カ年の基本計画で町づくりを目指し、そのためには、職員の意識改革、継続した行政改革を意思したと言っているが、議会も同様に議会改革を進めていかなければならないと思う。

議会広報対策特別委員会
副委員長 高松 守雄

編集後記